事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部アフリカ第四課

１．案件名（国名）

国名：セネガル共和国

案件名：ファティック州教員研修センター整備計画

（英）Project for Construction and Equipment of the Regional Teacher Training Center in Fatick

（仏）Projet de Construction et d'Equipement d'un Centre Régional de Formation du Personnel de l'Education (CRFPE) à Fatick

２．事業の背景と必要性

(1) 当該国における教育セクターの現状と課題

セネガル共和国（以下、セネガル）における初等教育総就学率は、2000 年の 67.2%から 2011 年には 93.9%(「教育の質、公平、及び透明性改善計画（PAQUET)」、2013)と飛躍的に上昇し、2011 年の就学児童数は 172 万 5 千人（セネガル国民教育省、2012 年）に上る。初等教育就学者数の増加に対応するため、セネガル政府は 1993 年に旧来の高等師範学校に代えて初等教育教員養成校を設立し、1995 年にボランティア教員制度を導入した。新制度では教員養成課程を 4 年間 から 6 ヵ月間の研修に短縮し、研修を修了したボランティア教員が教鞭をとりつつ正規教員資格の取得を目指すこととなった。また、無資格初等教員の数も少なくなく、初等教員の質の低下が顕著となっている。2011 年の政令により、初等教員養成校（EFI）の機能にこれまで現職教員研修を実施していた現職研修局（PRF）を統合させ、教員養成と現職教員研修を一元化した州教員養成研修センター（CRFPE）の拡充が図られている。これらの背景を踏まえ、現在、有資格教員の育成及び現職教員の能力向上が求められており、初等教員養成校の新規建設は喫緊の課題となっている。

本案件の対象であるファティック州 CRFPE は現在、州の関連施設を間借りし、管理棟、教官室、教室の 3 施設が分散しており、財政面を含め、非効率な運営を強いられていることに加え、必要最低限の施設・機材が整っていないという深刻な状況下にある。

(2) 当該国における教育セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

現行のセネガル国家教育計画は、「PAQUET(2013-2025)」である。同計画には、初等・前期中等教育一貫プログラム化、及び 2025 年までに基礎教育課程修了率 100%達成等を目指す、教育訓練セクター政策要綱案（2012 年-2025 年）が反映されている。また同計画においては、新規教員養成及び現職教員研修の改善などが盛り込まれており、本事業は当国開発計画と合致する。

(3) 教育セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

本案件はMDGs2の達成に貢献し、TICAD V横浜行動計画にも位置づけられる案件である。また我が国国別援助方針においても基礎的社会サービスの向上を重点課題の一つに位置づけ、基礎教育向上プログラムを展開している。同プログラムの下、小中学校の教室建設を通じた初等中等教育へのアクセス改善、教育環境整備に寄与してきた。また、技術協力プロジェクト「教育環境改善プロジェクト」や「理数科教育改善プロジェクト」の実施により、教育の質の向上にも取り組んでいる。

(4) 他の援助機関の対応

アメリカ合衆国国際開発庁（USAID）：コルダ州、タンバクンダ州における CRFPE 施設のリハビリの実施。世界銀行：カフリン州、カオラック州における CRFPE の整備。

３．事業概要

(1) 事業の目的

ファティック州において教員研修センターの施設を建設し、研修用機材を整備することにより、同州における新規教員養成及び現職教員研修環境の改善を図り、もって質の高い教育を受けた教員が養成されることに寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ファティック州ファティック市（人口約 26 千人）

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

施設（教室棟 548 ㎡、特別教室棟 2 棟 369 ㎡/309 ㎡、事務所棟 415 ㎡、講堂棟 384 ㎡、社会教育談話室棟 197 ㎡、トイレ棟 2 棟 126 ㎡、設備棟 144 ㎡、門衛所 26 ㎡）の建設、教育家具（教師用及び生徒用机椅子等）・機材（ビデオプロジェクター・映像用スクリーン、デジタルビデオカメラ、レーザープリンター等）の調達、各種電気・機械（電力、通信、防災、給排水衛生、空調関連）の整備

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

本邦コンサルタントが調達代理機関と契約し、施工監理に関する技術サービスを提供する。また、ソフトコンポーネントについては、維持管理体制の構築について CRFPE 関係者に指導する。

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 6.63 億円（概算協力額（日本側）：6.42 億円、セネガル国側：0.21 億円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2014 年 6 月～2016 年 8 月を予定（計 26.5 ヶ月。入札期間を含む）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

実施機関は国民教育省（Ministry of National Education）。具体的には国民教育省企画改革局（DPRE）の下に、関係部局が協力して本案件を実施する。

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類:C

② カテゴリ分類の根拠

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進：特になし

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）：特になし

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担

当機構が実施中の「教育環境改善プロジェクトフェーズ２（2010 年 9 月～2014 年 8 月）」において学校運営改善の取り組みを行っており、このノウハウが本事業で建設された施設

の運営にも活用されることが期待される。またファティック州は教育分野の青年海外協力隊活動の拠点の１つであり、本件の実施によりこれら技術協力との相乗効果も期待される。なお、世界銀行やUSAIDが他州におけるCRFPE施設のリハビリや整備を実施しており、重複がないように進める。

(9) その他特記事項：特になし

４．外部条件・リスクコントロール

(1)事業実施のための前提条件

セネガル政府が、サイトの樹木の伐採を含む整地、水道・電気・電話線の引き込み、外周塀の建設、教員の配置及び必要な予算措置を確実に実施すること。

(2)プロジェクト全体計画達成のための外部条件

・ファティック州の治安が極端に悪化しない。

・物価が想定以上に高騰せず、資機材が安定的に調達できる。

５．過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1)類似案件の評価結果

類似案件の評価では、財務状況も含めた現地施工業者のキャパシティにより工事の進捗が大きく左右されるリスクがあるとの指摘がなされている。

(2)本事業への教訓

財務状況を含めた質の高い現地施工業者の選定基準のあり方、現地施工業者の能力に配慮した設計、ロット分け、工期設定、施工監理体制等を踏まえた案件形成を行った。

６．評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

本事業はセネガルのニーズ及び開発方針と十分に合致していることから、政策的妥当性が高い。また、前述のとおりファティック CRFPE の置かれている現在の状況下、新施設の整備は喫緊の課題であり、緊急性が認められる。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値（2013 年）	目標値（2019 年） 【事業完成 3 年後】
ファティック州CRFPEにおいて育成された新規教員数（人）	197	300

2) 定性的効果

① 学習環境が整備されることによる、質の高い教員の育成課程が実施される。

② 質の高い教員を育成することにより、初中等教育の質の改善に寄与する。

７．今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6.(2) 1)のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

事後評価を事業完成 3 年後に実施する。

以 上